令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	57

担当課	教育委員会	担当課長	江上 智恵
事業担当者	吉留 広	一次評価者	安部 憲一郎
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	首羅山遺跡保存・活用事業		
予算科目	10 款 5 項 10 目		
予算事業名	公開活用事業費整備事業費		
総合計画での位置づけ（施策名）	町の文化を守り、育てる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	文化財保護法		
事業の対象	首羅山遺跡		
事業の目的	地域の貴重な文化遺産である首羅山遺跡の公開に向けて、参道の整備を行う。 首羅山遺跡の保存・活用周知を行い地域活性化の核の一つとして位置付ける。		
実施期間 開始年度	平成 17 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	首羅山遺跡の保存活用周知を行う。 首羅山遺跡の参道を整備する。		

目的達成の指標（成果指標）

首羅山遺跡登山者数

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	人数	5,000	10,000	10,000	10,000
実績	人数	10,000	20,000		

指標設定の考え方	遺跡整備を通して、地域の文化財である首羅山遺跡に対して遺跡を守る心を育てる。また、町内・町外者に地域の貴重な文化財である首羅山遺跡について周知を行う。
計画時の懸案事項	サイン設置について、首羅山遺跡整備保存委員会の指導・助言をもとに整備を行う必要がある。
計画時の懸案事項への対応	国史跡であるため、福岡県文化財保護課と遺跡の保存について協議を行い、整備を行う。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　828 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.3	0.4	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,295	2,871	789	789
事業費	直接事業費	9734	9864	9864	9864
	人件費	2,295	2,871	789	789
	合計	12,029	12,735	10,653	10,653
財源内訳	国庫支出金	4000	4558	4562	4558
	県支出金	525	525	525	525
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,504	7,652	5,566	5,570
	合計	12,029	12,735	10,653	10,653

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	9,734	9,864	9,864	9,864	9,864
実績	9,696	9,201			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
遺跡見学会の参加人数	人	0	0		
		0	0		
登山会の実施回数	回	6	12	9	9
		5	4		
登山道整備（白山神社口～山頂地区）の整備率	%				
歴史講座の回数	回	2	2		
		0	0		
サイン設置数	期	5	5	7	0
		6	5		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　734 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.3	0.4	0.3	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,295	2,871	2,106	789
事業費	直接事業費	9696	9864	9201	9864
	人件費	2,295	2,871	2,106	789
	合計	11,991	12,735	11,307	10,653
財源内訳	国庫支出金	4000	4558	4000	4562
	県支出金	525	525	525	525
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,466	7,652	6,782	5,566
	合計	11,991	12,735	11,307	10,653

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	吉留　広

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1．そもそも必要な事業か？	評点	判定
□　町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□　緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□　実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□　町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2．町が実施する必要があるか？		
□　町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□　公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□　民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□　民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3．実施内容は適切か？		
①有効性		
□　久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□　事業の手法・活動内容は適切である。	5	
□　事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
□　事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□　外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□　実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□　受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	A
□　事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
□　ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性　A・B＝目標達成できたもの　C・D＝目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
□　A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	□　実施方法の工夫
☑　B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	□　事業の効率化
□　C見直し	□　受益者負担の適正化
□　D廃止	□　事業縮小
□　E完了	□　その他

4．自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

登山道沿いに説明サイン等を設置することにより、登山者の安全や首羅山についての学習機会の確保につながった。小学生の総合学習においては首羅山の歴史を体感するとともに、首羅山を取り巻く歴史を守り伝えていくという心にも深く関わっている。ツキイチ登山会で色々な催しを行い、歴史や新たな発見等をダイレクトに発信することにより、町内外でリピーターが増加傾向にある。

5．成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

登山者を飽きさせず、また新たな教材開発を行うために、首羅山遺跡保存・活用整備委員会において協議を行い、調査研究を継続していく必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	安部　憲一郎

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□　町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□　緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□　実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□　町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□　町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□　公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□　民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□　民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□　久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□　事業の手法・活動内容は適切である。	5	
□　事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
□　事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□　外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□　実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□　受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	A
□　事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
□　ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

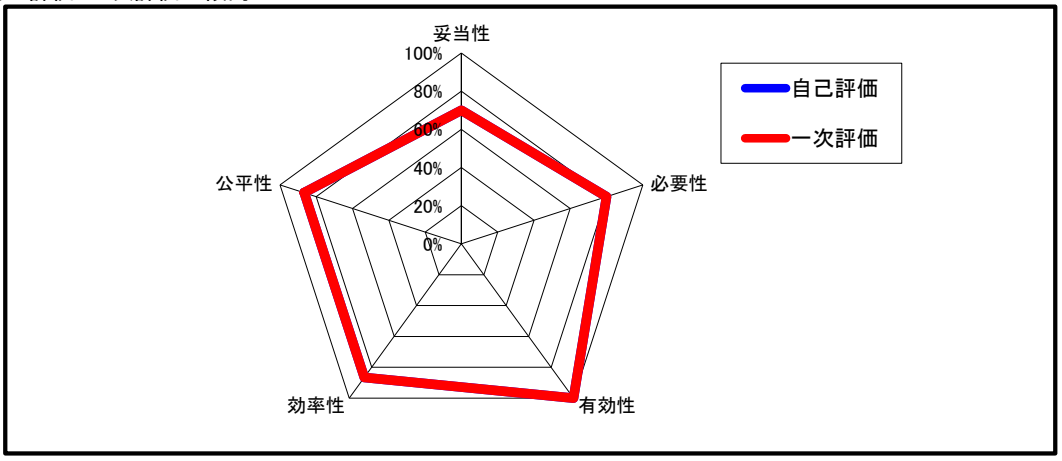
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□　A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑　B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□　C見直し	
□　D廃止	
□　E完了	

C見直しの具体的内容
□　実施方法の工夫
□　事業の効率化
□　受益者負担の適正化
□　事業縮小
□　その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

平成25年の国史跡指定以降、順調に整備はすすんでいる。登山道については、オープン以来、年間10,000人以上の登山者が訪れている。毎月開催している「ツキイチ登山会」にも毎回多数の参加者があり、参加者へのアンケートでも高評価が大半を占めている。
また、ツキイチ登山会にあわせてイベントを行うなどの動きもあり、まちづくりの一端を担う事業となっている。町内外での関心も高く、今後も計画的に事業を行う必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	江上　智恵

☑ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

山内の整備の拡充や来訪者の数、山のイベントなど計画的にかつ効果的に進んでいる事業であり、久山町の魅力づくりに大きく貢献している。今後はガイダンス施設を併設し、便益施設などの拡充を図る必要がある。また、周辺のサインについても検討が必要である。

☐ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

☐ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

☐ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

☐ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

☐ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

☐ 評価終了
☐ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）